近森病院　作業療法科

科長補佐　光永哲

概要

作業療法科の人員は 1 月の時点で 21 名、3 月に 1 名退職し、4 月から 3 名の新人を迎え 23 名体制(内 2 名育休)で開始した。8 月に 1 名の退職があり、22 名の体制となった。

教育面では、科内目標を「地域住民・病院スタッフに貢献できる、根拠・手順に基づいた作業療法の実践」と、去年と同様の目標設定とした。感染状況により勉強会の中止に悩まされることもあったが、オンラインでの講座、新人や異動者に対してのＥラーニング方式の資料作成、業務チェックリスト、OJT（on-the-job training）を活用して質の維持・向上に努めた。

業務実績

年間総処方数は 1,675 件(前年 2,001 件)と前年に比べ約 300 件の減少となり(図 1)、月別新規処方数は月平均 139 件(前年平均 166 件)となった。月別延べ実施件数を図 2 に示す。月別延べ実施件数（入院）は平均 2,173 件（前年平均 2,599 件）であった。月別延べ実施件数（外来）は平均 279 件（前年平均 297 件）となった。

疾患別リハの月別延べ総単位数を図 3 に示す。月平均は脳血管疾患 2,083 単位、運動器疾患 999 単位、廃用症候群 706 単位、呼吸器疾患 297 単位、心大血管疾患 235 単位、がんリハ 1 単位であった。いずれも前年より減少していた。

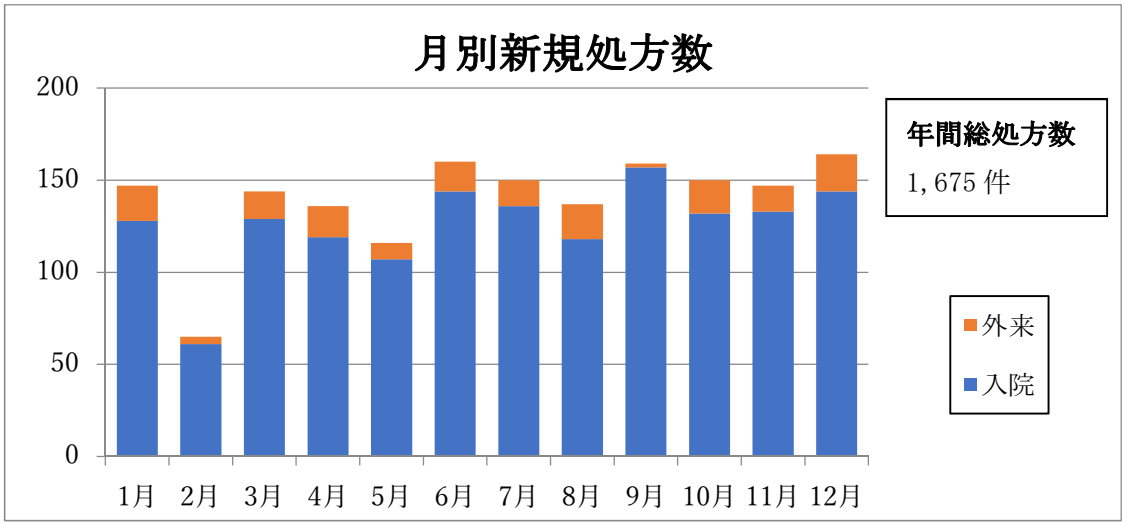

図 1　月別新規処方数

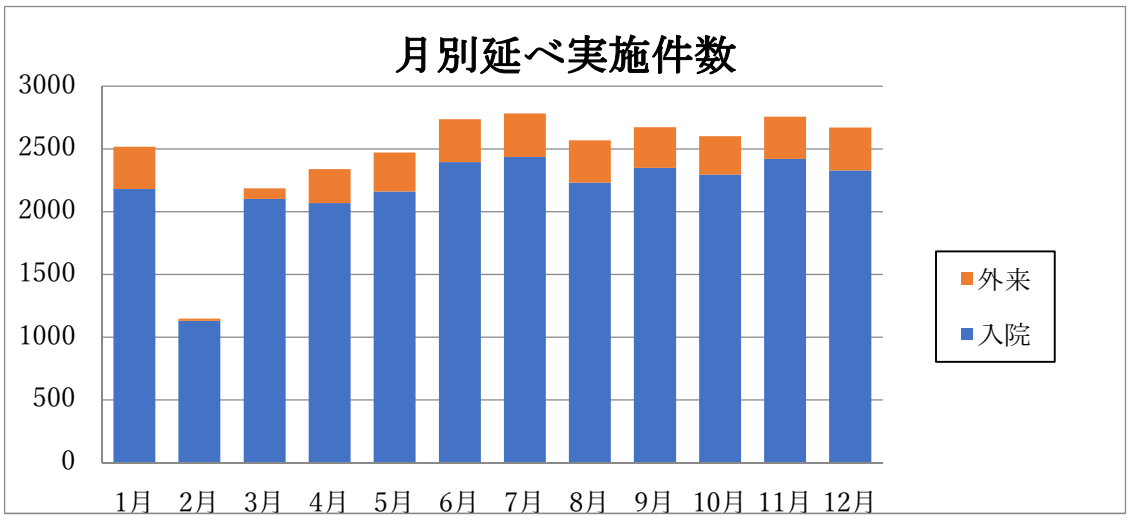

図 2　月別延べ実施件数

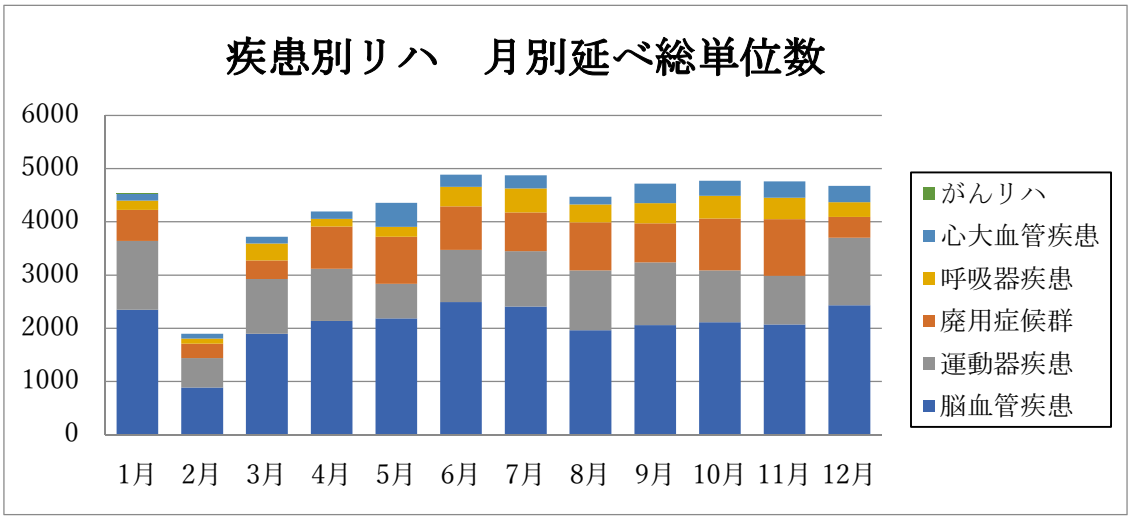

図 3　疾患別リハ　月別述べ総単位数

終わりに

2022 年は新型コロナウイルスが当院でも猛威をふるい、救急の受け入れ・入院を制限することもありリハ処方数は減少した。スタッフも、コロナ関連に伴う出勤者の減少があり、患者さんへの十分なリハ提供が行えない状況もあった。その中で個人防護具の着用ガイドラインなどを制定・改訂しつつ、感染状況に応じた継続的なリハが実施できるよう対応も強化した。

今後も感染対策を徹底し、患者さんの日常生活動作の改善を図り家族支援を行いつつ、救急病院の役割を担う為に入院期間の短縮にむけてスタッフ一同で取り組んでいきたいと考える。

学術発表・講演会等

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
Covid-19 罹患患者の関わりについて	宮﨑翔、武内周平、光永哲	第 31 回四国作業療法学会	2 月 26 日 (web.徳島)
安心・安全な急性期病院を目指して	山本学、武内周平、光永哲	第 31 回四国作業療法学会	2 月 26 日 (web.徳島)
職業倫理	光永哲	2022 年度　高知県作業療法士会　現職者共通研修会	10 月 7 日 (web.高知)